

吃音が起きる仕組みと治療への取り組み

吃音（きつおん）とは？

吃音とは、言葉がスムーズに言えず、どもってしまうことです。吃音の主な症状は、次の3つです。

- ◆ 繰り返し（連発）（例：「ぼ、ぼ、ぼ、ぼくです。」）
- ◆ 引き伸ばし（伸発）（例：「あ——したね」）
- ◆ 詰まり（難発）（例：「・・・・・・・・おもちや」）

電話、発表、面接などでどもって苦労する人が多いようです。

人口の1%くらいの人に吃音があるとされています。

吃音と脳に関係がある？

単語を読む時の脳を機能的磁気共鳴画像法（fMRI）で見ると（図1）、吃音者は話す時の脳の使い方が少し違うようです。

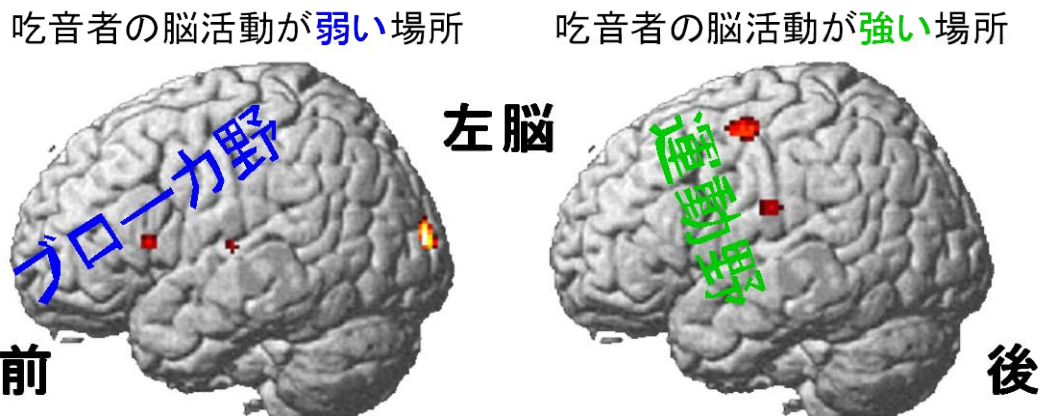


図1 吃音のある人が単語を読んだ時の脳活動

吃音がある人はブローカ野（発話中枢）が十分に活用できないため、どもりやすくなると考えられる結果が示されています。現在、脳機能が治療の前後でどう変化するか調べています。

研究代表者：感覚機能系障害研究部 森浩一
mori-koichi@rehab.go.jp